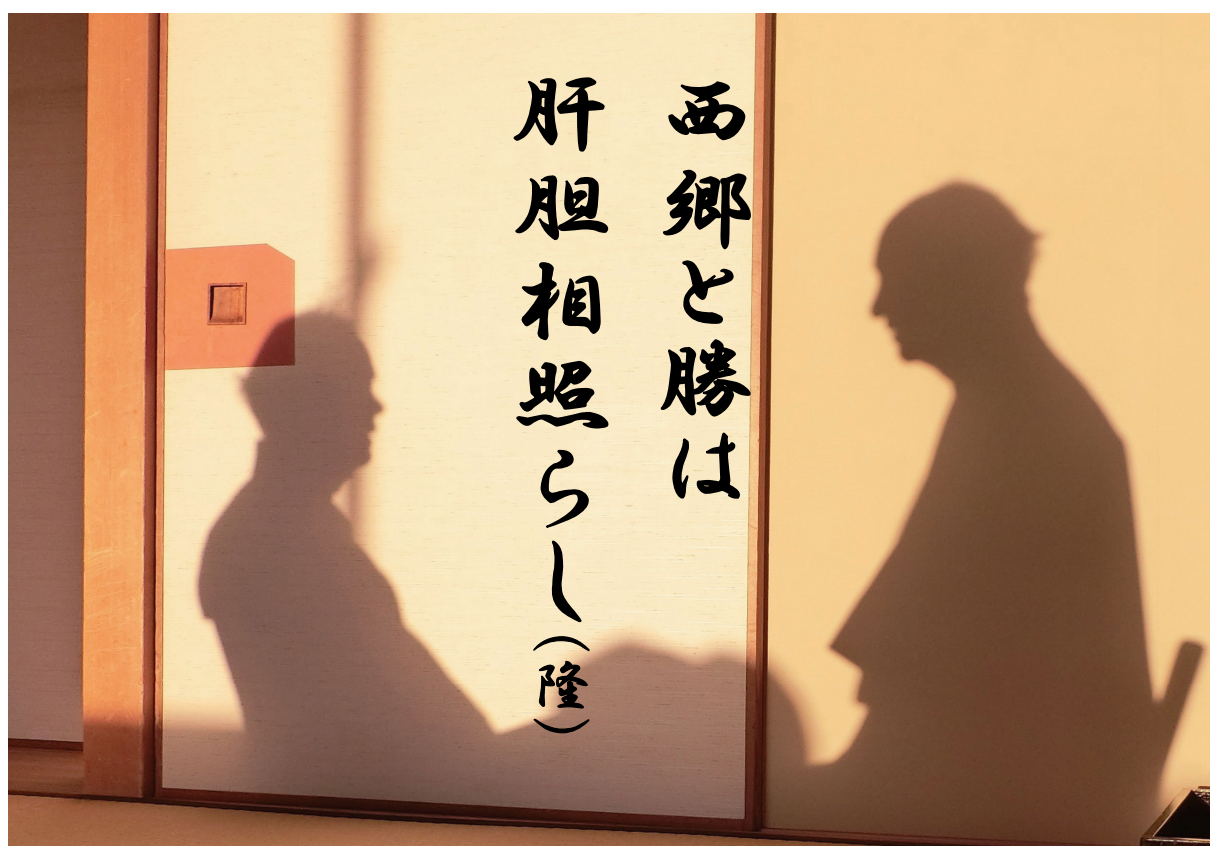


第七十三回フォト句優秀作品（29年5月15日）







花びらに

届けば君は

小学生(アキヤ)



首位楽天陰のスターは美女軍団 (和彦)





安曇野は

一斉開花し

共謀罪(浩平)



拳あげ怒り悲しみ青い空 (正三)





寸評：

1) 三世代暮らした頃や今はるか

池田 隆

磨きこまれた古民家の囲炉裏端、自在鉤のシルエットが見事に雰囲気を伝えている。回顧趣味が共感を呼んだ。

2) 西郷と勝は肝胆相照らし

池田 隆

美しいとはいえない画像だが、宿舎の壁に映った陰を西郷隆盛と勝海舟の向き合っている様子と見立てたセンスを買いたい。

3) 花びらに届けば君は小学生

中村 晃也

地表を覆っている花びらに手を伸ばしている園児たちのスナップ。



4) 首位楽天陰のスターは美女軍団

大月 和彦

通常、菅江真澄とか北越云々とか江戸文化に浸りきっている作者にしては珍しい若々しい作品。へそ丸出しのレデイの真ん前でカメラを構える勇気を持ち合わせているのは驚きだ。

5) 安曇野は一斉開花し共謀罪

大越 浩平

遠雪嶺を背景にした百花繚乱の安曇野の春。色彩に富み素晴らしい風景だが、素材が多すぎてトリミングが難しかったのでは。

句中の**共謀罪**の措辞は賛否の分かれるところ。

6) 拳あげ怒り悲しみ青い空

矢澤 正二

枝を払ったプラタナスの切り株を振り上げた拳との見たて。怒りや悲しみの発散先がなく拳を振り上げた先に青い空があるというのは救いがある。この作品が点を集めたのは、画像の美しさではなく、下5の**青い空**の一語が句全体を引き立てたそのニュアンスに共感したからである。

7) 春の陽に見つめられては頬染める

長尾 進一郎

作者は先月入会された新人である。見詰められるのを意識して手をかざして人目を避け、ひそかに頬を染める風情が好ましい。画面の説明に終らず、季語をたくみに取り入れた句もなかなかのものである。

この作品がビギナーズブラックでないことを期待したい。





今月は池田さんの出題。カードゲームを覗いている人物が主役。

1) 見るだけで勝負はしない日本人 中村 晃也

画像とは付かず離れずの、誰でも共感できる句の典型。

2) この次は俺にやらせろ見ちゃおれぬ 長尾 進一郎

この句もトランプや勝負のことを直接言っていないが、見て  
いる人の気持ちをうまく代弁している。

以下は苦しまぎれの作品でコメントを差し控えます。

3) トランプのブラフで円は飛び上がり 松田 昌康

3) トランプ氏イスラムさんと興じようネ 清水 勝

4) 勝負ごと岡目八目傍が良い 矢澤 正二